

ベンチャー・ビジネス論Ⅱ

科目ナンバリング MAN-304
選択 2単位

大脇 淳一

1. 授業の概要(ねらい)

ベンチャー・ビジネスとは冒険である。自身の技術やアイデアの新規性、秀逸性への過信により、新規事業が行き詰まることはよくあることである。しかし、失敗を恐れず、経済の成長と活性化の担い手としての次世代ベンチャーが期待されていることも確かである。

本講義では、様々なベンチャービジネスの実例を共に確認し、アントプレナーとしての直感を磨きながら、イノベーションを起こすことのできるベンチャーマインドを醸造していくことを目的とする。

2. 授業の到達目標

- ・新規事業の典型的な失敗パターンを判断できるようになる。
- ・自身の仮説を事実に変える方法を身につける。
- ・創造的思考の基礎である知識を消化し、組み合わせ、関連性を浮き上がらせる直感を磨く。

3. 成績評価の方法および基準

- ・試験は行わず、第13回に実施するビジネスモデル模擬及び出席によって100%評価します。
- ・模擬に関しては事前に告知をし、様式等は試験当日に配布をするので、皆さんが自身で準備する必要はありません。

4. 教科書・参考文献

参考文献

トム・アイゼンマン (著), グロービス (翻訳) 起業の失敗大全—スタートアップの成否を決める6つのパターン— ダイアモンド社

5. 準備学修の内容

- ・専門的な用語等については、講義内で適宜分かりやすく説明するので、予習の必要はありません。
- ・復習に関しては、講義で身につけた知識を日常で実践できるよう、意識をして生活を送ってみてください。
- ・新聞や雑誌、インターネット等で、関心の持てる記事などを見つけたら、スクラップをして、自身オリジナルの資料を作ってみてください。

6. その他履修上の注意事項

- ・板書等をメモできるノートや用紙を用意しておくことが望ましいです。
- ・資料の配布がある場合はLMSにアップロードするので、使い方を確認しておいてください。
- ・必要に応じて外部講師(ゲストスピーカー)に来てもらう場合があります。
- ・各回の講義は授業内容によりますが、皆さんの希望や進捗状況により、内容や進度、スケジュールは適宜変更する場合があります。
- ・状況によってオンライン授業に変更になった場合は、受講生の皆さんの不利益にならない形で、講義や模擬の形態を変更し、情報を伝えるので心配しないでください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---------------------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス(ベンチャー・ビジネスとは何か) |
| 【第2回】 | アントレプレナーとして知っておいて欲しいこと(前期のおさらい) |
| 【第3回】 | 戦術の危険性 |
| 【第4回】 | 起業家の経験不足 |
| 【第5回】 | 見つけたチャンスの問題 |
| 【第6回】 | 予想外の成功 |
| 【第7回】 | 規模化の失敗 |
| 【第8回】 | 急速な上昇と急速な下降 |
| 【第9回】 | 投資のリスク |
| 【第10回】 | 規模化のリスクと戦略 |
| 【第11回】 | ビジネス閉鎖のタイミング |
| 【第12回】 | 失敗の癒し方と立ち直り方 |
| 【第13回】 | 1時間ビジネスモデル模擬 |
| 【第14回】 | ベンチャービジネスの実例
(映像又はゲストスピーカー) |
| 【第15回】 | 講義全体のまとめと発表 |